

28 年度事業計画

学習活動部会

部会長 児玉 裕

副部会長

| 事業名 | 実施期間・期間 | 内容 | ねらい |
|---------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 文学講座 | 全 8 回 (4 月～12 月ま で 月 1 回) | 英文学講座「ディケンズ 『オリバー・ツイスト』を 読む」 講師：嶋田貴美子 | 英文学の世界を深く学習し、 海外の文学にも親しみをも ってもらおう。 (スタッフ 2 名) |
| 女性のための健 康ヨガ教室 | ヨガ：毎月第 1、 第 3 月曜日 | ヨガの実施 講師；神尾みち子 | 仕事や日々の疲れを取るた めのリラックスと身体のケ アをはかる。 |
| | 年 2 回 | 健康講話 講師；上田市健康指導士 ヨガの実施 講師；神尾みち子 | 女性の健康のために何が必 要かを専門家に指導しても らう。 |
| チャレンジ将棋 講座 & 第二回ゲ キトツ真田将棋 大会 | 2 月 | 将棋指導と中級者以上の ための将棋大会 講師；竹田貴一 | 文化事業、ライブラリーを広 く知ってもらおうキッカケに する。 |

情報サービス部会

部会長 西入幸代

副部会長 中村恵子

| 事業名 | 実施月日・期間 | 事業のねらい | 事業内容 |
|---|----------------------------|--|--|
| ネット&カフェ in ライブラリー | 毎月1回 | 情報格差是正のための取 り組み | 初心者対象のインターネット、 Excel、Word 演習個別サポート。 サポーター2~3名/1回(スタ ッフ6名) |
| 電子ジャーナル 「環」の発行 | 年4回発行(4・ 7・10・1月) | 千曲川地域文化を発信、 人と地域のつながりを深 めていく事業 | スタッフが分担して取材、執 筆、編集。各分野で活躍してい る方からの寄稿も掲載。 (スタッフ6名) |
| 情報活用サポー ト(上田市から受 託) | 毎週水、金曜日と 第4土曜日、毎月 9回 | 情報リテラシー支援 | データベース・web 検索、パソ コン操作の個別支援 スタッフ1名/1回 (スタッフ6名) |
| 地域資料の紹介 (上田市から受 託) | 随時 | デジタル化により、地域 資料の検索を容易にして 利用者の利便性を高め る。 | 地域雑誌論文の書誌情報をエ コールへ登録する作業 (スタッフ3名) |
| WORD・EXCEL 塾 (マルチメディア 情報センター から受託) | 月2~3回 土曜日 | パソコン初心者のための 講座 | 個別支援サポーター派遣 サポーター1~2名/1回 (スタッフ4名) |
| 情報検索、資料調 査(AREC から受 託) | 随時 | 地域のビジネス支援のた めの取り組み | 依頼による資料調査 スタッフ1~2名 |
| 図書館を使って 調べる学習(長野 県図書館協会か ら受託) | 随時 | 図書館を使って調べる学 習を行う。成果品は図書 館を使って調べる学習コ ンテストへ応募 | 丸子地域の小、中、高校で、図 書館を使って調べる学習を企 画支援 |
| 地域資料人材養 成講座(仮称) | 5回程度の連続 講座 7月くらいから | 地域資料について学び、 デジタル化(OCR、目録 登録、データベース作成 など)の演習を行って地 域資料保存公開のための 人材を養成する。 | 内容案: 地域資料とは。地域 資料はどのように役立つか。 地域資料の検索演習、蔵書検 索システムへの登録。行政文 書の適正な保存公開の意義。 |

ことばの繭ホール文化事業部会

部会長 中村恵子 副部会長 西澤孝子

| 事業名 | 実施月日 | 事業内容 |
|-------|------------|----------------------------------|
| コンサート | 4/16 | ハーモニカコンサート 信州国際音楽村ハーモニカメイツ |
| | 5/28 | 山口直美（フルート） 斉藤明子（10弦ギター）によるコンサート |
| | 7/9 | 汐入規予 ジャズコンサート 歌：汐入規予 ピアノ：新村邦明 |
| | 8/27 | コカリナコンサート れんげ畑 |
| | 9/10 | チェンバロ、胡弓他 コンサート 渡辺敏晴：古楽器奏者 |
| | 12/10 | クリスマスコンサート ピアノ：伊藤悠里 オーボエ：石井聡恵 |
| | 29.1/21 予定 | 新春コンサート 三井由香 予定 |
| 朗読会 | 6/18 | 岩崎信子朗読のタベ オーボエ：石井聡恵 |
| | 29.3/11 予定 | 駒村則子 |
| 落語会 | 10/15 | 入船亭扇好 予定 |

事業のねらい：市民交流の場として、毎月第3土曜日に地域のプロや新人芸術家に発表の場を提供し、コンサート・朗読会・落語会などの集会文化事業を実施する。

年7回のコンサートは、プロ・アマを問わずソロ・グループ等の演奏家に出演をお願いする。

年3回の朗読会・落語会は、元アナウンサー・地元落語家にも出演をお願いしていきたい。

これらの、演奏会・朗読会・落語会を通して、広く市民に潤いの場を提供し豊かな心の醸成を図るとともに、地域文化の創造と発信を活発にし、駅前からの賑わいを創出していく。

スタッフは4人／1回

子どもそだて部会

部会長 稲垣勇一 副部会長 滝沢順子

| 事業名 | 実施月日・期間 | 事業のねらい | 事業内容 |
|---------------------------|---|--|---|
| 絵本講座 | 全 8 回 6 月から 3 月 月 1 回 第 2 日曜日 (8, 2 月は休み) | 優れた絵本は、文学と美術が結びついた芸術作品。子どものみならず、大人にとっても重要な文化財である絵本を、国内外の古典、新作から選び毎回 1 冊を深く読み込んでいく。 | グループ毎の話し合いと講義 講師…稲垣勇一さん スタッフ 2 人 募集人数 30 人 |
| 子ども民話語り手養成講座 (上田市から受託) | 全 20 回 4 月から 3 月 月 2 回 毎月第 2、第 4 日曜日(8、2 月は休み) | 子ども達に民話の文化にふれてもらい、こども達の自主性をのばしながら、語り手として育てていく。 | 民話語りの指導 講師…稲垣勇一さん スタッフ 2 人 募集人数 10 人 |

絵本読み聞かせ人材養成講座修了者のグループ活動

| 読み聞かせグループ | 事業のねらい | 事業内容 |
|-----------------------------|--|--|
| 「稲穂」 「ゆうゆう」 「おはなしさんぽ」 | 絵本・読み聞かせについて学習し、実践を通して、絵本の楽しさ、読み聞かせの楽しさ・重要性を広める。 | 絵本の勉強会 読み聞かせボランティア(小学校・児童館・高齢者施設・JA 有線放送の朗読) おはなしかいの実施、各種読み聞かせのイベントに参加 |

喫茶つつじ部会

部会長 神尾みち子 副部会長 神林和江

部員 4 名(調理師免許取得者 1、食品衛生管理者 3)

| | |
|-----|---|
| 営業 | 時間 10:30~16:30 オーダーストップ 16:00 臨時休業 お盆休み 年末年始休業 飲み物類 280 円 トースト 430 円 11 枚綴りの飲み物チケット 2,800 円を発行 (倶楽部員は 2,400 円) |
| 業務 | サロントーク、ネット&カフェで飲み物提供、2 階会議室への出前 入口ガラスケースの管理、販売(山本鼎、真田三代記、丸窓電車、別所線等) 繭ホールイベントのチケット取扱 |
| その他 | 上田飲食店組合に加入 サンコリテップ(厨房内細菌、手のひら、まな板等)の検査と検便提出 食品衛生自主管理点検評価は○ 毎月 1 回部会を開催 |

部会に属さない事業

| 事業名 | 実施月日・期間 | 事業のねらい | 事業内容 |
|---------------------------------|--------------------------|---|---|
| サロントーク in 真田丸の世界（わがまち魅力アップ応援事業） | 5 月末までに作成、その後配布 | 大河ドラマを盛り上げ、地域文化を発信し、観光・地域振興・地域連携に寄与する。 | 26 年 27 年に作成したサロントークの記録をまとめて小冊子を作成し、図書館、観光施設、関連施設へ配布する。3000 部 |
| 被災地支援・本のリサイクル市 | 11 月および年間を通して古本の寄付を呼びかける | 被災地支援と上田地域の各機関との連携（さくら国際高等学校、侍学園、バリューブックス等） | 市民から古本を寄付してもらい、換金して陸前高田市図書館建設資金として寄付する。 実行委員会を作って計画し実施する |
| 製本修理（上田市から受託） | 随時 | 製本、修理について、専門知識と高いスキルを身につけて蔵書の製本修理業務に当る | 製本と修理 チーフ山本美都子 スタッフ 2 名 |
| 倶楽部だより “とーく” 発行 | 隔月発行 | 倶楽部会員への活動広報と報告 | 倶楽部の会員を対象とし、倶楽部活動計画と実施した活動の様子を伝える。 チーフ児玉裕、スタッフ 2 名 |
| ホームページ運営 | 随時 | 倶楽部の活動を広報し、広く社会の理解を得る | 倶楽部の各種事業の広報、報告担当 西入幸代 |